

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年9月28日 文責：校長 森川 稔



思い出いっぱいの二日間

5連休後の二日間の登校日をはさみ、また週休日と、子どもたちにとってはお休み続きとなりましたが、事故等の報告もなく、それぞれにシルバーウィークを過ごされたことと思います。

先々週の木曜日から二日間(17日～18日)、6年生は長崎市方面に修学旅行に行ってきました。二日目に少しだけ雨がぱらつく場面もありましたが、道中はほぼ天候に恵まれ、いろいろな経験をすることができました。今回も、同じ町内の田平南小学校のみなさんと合同で実施しました。写真とともに、行程の中での学びや経験を紹介します。

出発式では、在校生や先生方、保護者の皆様が見守る中、旅の目的を確認して、いよいよ出発です。大きなバスだったため、踏切を渡ってからの乗車となりましたが、保護者の皆様、道路横断をしていただいた駐在所の所長さん、校門から降りてきた在校生や先生方など、多くの方に見送られながら、みんな元気に出発しました。笑顔のスタートです。



最初の見学地は長崎市科学館です。さまざまな装置で科学のおもしろさや不思議さを体験し、最新の設備を備えた大きなプラネタリウムでは、星空や広大な宇宙について歓声を上げながら観察し、楽しみました。



昼食後の平和公園では、全校で折った千羽鶴を奉納し、全員で黙祷を捧げました。その後、2グループに分かれて、平和案内人の方からていねいな説明を受けながら歩いてまわりました。とても暑い中での移動でしたが、案内人の方の説明に熱心に耳を傾け、反応を示しながら一生懸命メモをとる姿に、学校の代表として充実した平和学習を行うことができました。爆心地公園、原爆資料館でも、本物を見て触れることを通して、平和の大切さについてあらためて考えることができました。今後のまとめ学習にも生かしてくれることと思います。



1日目最後の見学地は、スタジアムシティのバックヤードツアーです。試合観戦等で訪れたことがある子もいたようでしたが、大きなサッカーやバスケの競技場をはじめ、さまざまな施設があり、ふだん入ることのできない施設内のテレビ局や選手のロッカールーム、記者会見室、そして天然芝のきれいなピッチなどを案内していただきました。子どもたちはもちろん、引率の先生方にとっても驚きと発見の連続でした。



今回の修学旅行でお世話になるホテルに到着しました。心温まるウェルカムボードで東小、南小の子どもたちを迎えていただき、また夕食、朝食時には本校用のオリジナルランチョンマットでごちそうを準備していただき、とてもおいしくいただきました。



ホテルが長崎駅のすぐ近くだったこともあり、予定にはなかったのですが、夜のお散歩で駅方面に出かけました。歩きながら、翌日の班別自主研修で利用する電車の乗り場を確認したり、お土産を買ったりしました。また、子どもたちが3年生の時の担任の先生も来てくださり、久しぶりの再会を喜びました。

二日目、お世話になったホテルをあとにして、長崎歴史文化博物館を見学しました。鎖国時代の海外との交易、長崎奉行所の様子など、当時の生活や文化に触れる貴重な体験となりました。



最後は、昼食も含めた班別自主研修です。あらかじめ計画していた行程を、自分たちで公共交通機関を使ったり歩いたりしながら見学していきます。出島、眼鏡橋、中華街、諏訪神社など、いろいろな史跡や観光地を訪れ、見聞を広げることができました。最後は長崎駅での買い物も楽しみました。



友だちと過ごした二日間、とてもいい経験と学びができました。子どもたちとともに過ごす中で、学校教育においても、日々の学習や生活の中で身につけていくことの大切さを、あらためて感じる機会となりました。人に支えてもらったときに感謝を伝えること、周りの人に気を配ること、自分のことは自分ですること、そして、その場に応じて考えて行動すること。こうした一つ一つの姿は、特別な場面で急に身につくものではなく、毎日の生活の積み重ねの中で育っていくものだと思います。

修学旅行の思い出を、残り半年となった小学校生活の中に生かし、さらに友情と学習内容を深めていってほしいと思います。旅の様子は、玄関前のテレビやホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

田平東小HPはこちらから→

